

## 平成30年度 第2回倉敷市地域公共交通会議 議事録

### 1. 会議名

平成30年度 第2回倉敷市地域公共交通会議

### 2. 開催日時

平成31年1月11日(金) 10時00分～11時15分

### 3. 開催場所

倉敷市水道局3階 会議室

### 4. 出席者

#### (1) 委員(23名)

原孝吏委員, 谷口守委員, 橋本成仁委員, 丸山隆史委員, 西崎由美子委員, 川口孝志委員, 横田直樹委員, 安達壽延委員, 羽原富夫委員, 石井繁次委員, 大瀧浩二委員, 田嶋崇志委員, 和田明委員, 藤井利佳委員, (代)平本清志委員, 難波仁委員, 楠本雅之委員, 渡邊寛人委員, (代)小林一成委員, 久本忠彦委員, 福寄康明委員, (代)殿村嘉章委員, 梶田英司委員

#### (2) その他

オブザーバー(3名), 事務局(7名)

### 5. 議事

#### (1) 協議事項

- ア 平成30年7月豪雨に伴う真備地区の公共交通について
- イ 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
- ウ 真備地区コミュニティタクシーの運行内容変更について
- エ 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- オ 倉敷市地域公共交通網形成計画の事業の取組について

#### (2) その他

### 6. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 会長挨拶
- (4) 議事
- (5) 閉会

## 7. 配布資料

次第，委員名簿，配席図

資料1 - 1～6 平成30年7月豪雨災害に伴う真備地区の公共交通について

資料2 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

資料3 真備地区コミュニティタクシーの運行内容変更について

資料4 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

資料5 WEBアンケート結果について

資料6 路線別ナンバリング・カラーリングの取組について

参考1 乗合バスの運行システムのナンバリング等に関するガイドライン

参考2 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットガイドブック第2版

## 8. 議事内容

### (1) 開会（事務局）

本会議は，委員総数25名，代理出席含め出席者23名で，委員の半数以上の方にご出席いただいておりますので，倉敷市地域公共交通会議設置要綱第8条第2項の規程により会議は成立しています。

また，倉敷市地域公共交通会議の公開要領に基づき，本会議は公開で行われますことをご報告いたします。

### (2) 委員紹介（事務局）

委員，事務局の紹介

### (3) 会長挨拶

会長より挨拶

議長より挨拶

### (4) 議事における発言内容

ア 平成30年7月豪雨に伴う真備地区の公共交通について  
事務局から説明（資料1 - 1～6）

議長：本議題は報告事項という扱いかと思いますが，いかがでしょうか？

議長：特にございませんか？事業者も含め，迅速な復旧に務めていただきましてありがとうございます。あと，こういうことは滅多に起こらないことなんですけれども，再開にあたってどういうふうな連絡調整がなされたかという記録とかを，ちょっと落ち着いたら将来のためになんらかの形で記録として残しておいていただけたらありがたいと考えています。

事務局：わかりました。今後のために，そのあたりの経過を時系列的にわかりやすく

作成していきたいと思います。

イ 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について  
事務局から説明(資料2)

議長 : ありがとうございます。資料2の全般を説明頂いたという理解でよろしいですね?では,資料2をベースにご意見・ご質問等ありましたらお願いします。いかがでしょうか?

議長 : ご一読を待っている間に私のほうから一つ。目標が達成出来なかったという場合は,大きく分けると2つ考え方があっていて,本来達成出来るような目標が達成できなかったか,それとも,もともとの目標設定自体が適切でなく難しかったというケースがあると思うのですけれども,この場合の自己評価はどうお考えか?

事務局 : 目標値については,平成27年10月から平成28年9月までの数値を基に目標値を設定いたしておりました。それに対して,西ルートについて言うとミクロな話になりますが,多くの方が「まきび荘」という福祉施設に木曜日には5名以上の方が行っていたのが,現在は2名程度になっているとか小さな話なのですけれど,その積み上げで目標が達成できていないということです。まず,27年,28年の実績から若干数値が下がったということと,南ルートについては増えています,西・東ルートが減っています。

1人の方が利用を止められた時点で,200,300の数値が動きますし,実際に乗られている方も固定客の方が多いので,各地域で新規の方を勧誘するように地元委員会でやってはいただいているのですが,なかなか目標には達していないというのが現状です。

議長 : はい。という状況で資料を見ていただければと思います。

委員 : 目標・効果達成の所で,1年間出来ていなかったということなのですが,それはそれで良くて,利用者数なんかは結構目標に近い,あるいはそれを超えているというような路線もあるのですけれど,運行割合というのがあまり達していないようで,運行割合の目標の設定の仕方がどうだったのかなというのが気になりまして。

それがどういうことかと言いますと,例えば東ルート,運行割合は目標が82%だが59.6%でしたということなのですけれども,29年の実績で後ろの方の表を見ると,56%だったのですね。もともとが。56%の実績だったのに対して,目標を82%に設定して,29年は過去の実績を上回った59.6%になりましたけど,目標が高すぎて全然届いていませんというように読めるのですけども,これはどういう根拠で目標設定をしたのかということをお教えください。

事務局 : 目標設定の計算方法ですが,分母については,1日6便を4ルートで1年間運行を行ったものが総数になります。先程説明させていただいた27,28

年度でいうと、実際に稼働した数字を分子にしておりました。というのは、午前中の3便が定時定路線であります。空で運行していても分子にはカウントしておりましたが、それが昨年度からは空で運行したのものについては、分子に計上しないことに変更しております。その関係で数値が目標に達していないということになっております。

委員 : わかりました。要するに目標設定をした時と比べて、現在では評価の仕方の中の割り算の分子の考え方が変わったということですね。だとすると82%という目標設定は去年、一昨年、その前に設定したものなので、そもそも達成できる見込みがないということなのですね。

事務局 : 計画書の中に入れておりましたので、評価にも入れておりますが、来年度以降の目標については、例えば東ルートについては60%に変更させていただこうと考えております。

委員 : わかりました。今後はそういう数字でやるということで了解です。

議長 : ありがとうございます。他にいかがでしょうか？

議長 : 関係者の方もどこか気になることがあったらコメントをいただきたい。この評価については表決が必要ということなので、全体を通じて何かご意見等あればお願いします。よろしいでしょうか？  
評価の内容としましては、資料2の表紙にあるとおりAとBが混じった形がありますが、数字を基に客観的にこのように評価させていただくということで異議ありませんでしょうか？

[採決]

異議なしの方は挙手をお願いします。

賛成多数により、本件を承認させていただきます

#### ウ 真備地区コミュニティタクシーの運行内容変更について 事務局から説明(資料3)

議長 : いかがでしょうか？ご意見ご質問がありましたらお願いします。

議長 : 本日は、運営委員会の会長、運行事業者の方にも来ていただいておりますのでよろしければ。色々ご苦労もあったことと思います。

関係者 : 各地域の役員さんがおまして、そこから議題に上がった問題でありましたので私の方が代表して、この問題につきましては、豪雨災害で避難されていた方が建設型仮設住宅の方へ入りまして、特に高齢者を中心に不便な生活を余儀なくされておりますので、何とかタクシーの復旧というか寄ってくださというお話がありましたので、そういう件を取り上げまして、結果、こういう会議を持っていただくようになりましたので、早期に運行が行えますようお願いいたします。

関係者 : 昨年の7月には、当社もテレビ等でも報道があったところですが、車両が水没するということがあったのですけれど、何とか車両も含めて業務を再開さ

せていただいております。

関係各位には大変お世話になりありがとうございました。

真備地区のコミュニティタクシーについては、1月4日より運行再開ということで、今回、建設型仮設住宅を回るということで新たな取り組みになると思いますが、地域の復興ということで先の会長さんの話にもありましたように、交通というものの重要性を改めて感じております。1日でも早く元の真備に戻るような形で協力ができればと思います。よろしく申し上げます。

議長 : ありがとうございます。いかがでしょうか？

あと、できましたら県と国からもご意見、コメント等いただけたらと思います。色々まだサポートいただくこともあろうかと思っておりますのでよろしく申し上げます。

委員 : コミュニティタクシーの復興におきましては、倉敷市の担当者の方から非常に細かく情報をいただきながら、我々としても制度上どういった形で復興の方が早急に行えるかということで調整をさせていただいております。本件につきましても、通常ですと処理期間がいったいかかるのですが、事業者様、倉敷市の担当者の方と事前に調整をさせていただいておりますので、本日承認いただきましたら、こちらも早急な手続きを進めるよう今準備をしているところでございます。

委員 : このたび事業者の方も被災されたということですが、その中で地域の皆様の移動手段を様々なご努力をされたうえで、運行再開されるということに敬意を表したいと思います。地域の皆様の要望を受けて進められているということですので、今後もスムーズに運行が進み、さらに細かな地域の方の要望を反映させることが出来るよう随時修正をかけながら進めていただければと思います。

議長 : はいありがとうございました。

柔軟にやっていかないといけない部分があると思っておりますので、今もコメントいただいたように日々の運行を見ながらご不便の無いように運行していくということが非常に大事なかなと思っております。

他にいかがでしょうか？

会長 : 早急に対応いただけるということと、かなり柔軟に対応できるということでありがとうございます。実は、昨年の12月20日に復興計画の策定委員会というのがございまして、その場で住民の方からこのコミュニティタクシーについても、出来るだけ早期な拡大といえますか、それをお願いしたいという要望がございました。

復興計画のビジョンについては年末に発表させていただきましたが、当然ビジョンといいながらも事業が伴ってまいります。この事業につきましても、今年の2月くらいには皆様にお見せできるように、パブリックコメントがとれるように今準備を進めております。

そういった中に具体的な事業が出てまいりますので、引き続き復興懇談会等で色々と皆様のご意見を聞きながら反映していきたいと、で、計画については3月に発表するようにしておりますが、当然急ぐものについては計画策定の前に動けるものは動いていきたいと思っておりますので、柔軟な対応を含めましてよろしく申し上げます。

議長 : 速度感を持って進めるということによろしく申し上げます。他にいかがでしょうか？

委員 : 新しい計画というか現地で計画を立てていただいて非常に素晴らしいと思うのですけれども、ひとつ質問させてください。

南ルート、東ルートもそうなのですが、新しく停車するようになる仮設住宅を最初の起点にして、元の時刻表のとおり走るというようなイメージだと思うのですけれども、こうされると南ルートであれば、柳井原で乗った方というのは延々と乗り続けるみたいな感じになるのですけれども、これが本当にいいのかどうなのかなとちょっと思ったもので、経路からいうと、途中から柳井原に寄って、町の方へ行くというのもありだったのかなと思うのですけれども、そうすると全ての停留所の時刻表を変えなきゃいけないというデメリットがあるのですけど、この辺りの考え方をどうされたのかなと。要するに、全体にとって一番影響のないことを選ばれたのだろうかというの理解しているのですけどその辺りどうなのでしょう？

事務局 : 運行の開始前に寄らせていただく予定にしています真備総合公園と市場と柳井原については、仮設住宅としては比較的大型の50戸以上で、途中に立ち寄る所は20から30戸と少ないというのが1点ありまして、現に乗られている方に不便をおかけしない形で運行したいという思いがありましたので、今のルートの時刻を基本に今回、追加で仮設住宅に寄るという計画で事業者、運行事業者と協議をさせていただいて決めております。

委員 : 事業者さんとお話して決めたということなので、特に文句があるという訳ではないのですが、運転手さんの運転時間が長くなるし、仮設住宅に入っていらっしゃる方は、もともと車で動いていらっしゃった方が車を失っているとか、今までより利用頻度が高い人は沢山いらっしゃるような気がしていて、そういう方が最初に乗って、延々と乗っているのはあまりに苦しいのかなと思ったものですから、特に柳井原なんかは路線的に途中でちょっと寄ればいいような気もするものですから、どうなのかなと思ったしだいあります。

議長 : はい、時刻表をつぶさに見ていただきありがとうございます。割と見落とす所ですから、既得権といえ言葉は悪いのですが、今ある状況をなるべく変えない方がスムーズに合意形成がいくというのは当然のことなんですけど、ある一定のレベルまでいくと全体の最適をもう1度考えて、ネットワーク自体を考え直すということが必要となりますので、そこも含めて地元の方とも中長期的に固定ではなくて、色々な見直しがある場合その場合で入るし、場合によっては譲り合って全体がいいようにしていく変更もあるよということもお

伝えいただいて対応いただければよろしいのかなと思います。

事務局 : 利用状況を踏まえて、今後検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

議長 : 他によろしいでしょうか？

[採決]

こちらも表決事項ですので、この案で問題ないということであれば挙手をお願いします。

賛成多数により、本件を承認させていただきます。

## エ 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局から説明(資料4)

議長 : ありがとうございます。ご意見ご質問等ありましたらお願いします。

議長 : 公共交通マップの方は、先の議題の真備地区コミュニティタクシーの変更の扱いはどうなるのでしょうか？

事務局 : ご意見ありがとうございます。建設型仮設住宅への立ち寄りについては、今回反映出来ておりません。今のところ反映は予定しておりません。

議長 : 承認されたので問題はないのではないかと？

事務局 : 最終の校正がありますので検討はさせていただきます。どうなるかというのはマップ作成者と一緒に相談させていただけたらと思います。

議長 : 了解しました。評価というのは、普通、何をやったという過去の事に対して評価をするものですが、これは、これから適切に実施されるはずであるということに対して評価をするのですよね？

評価のタイミングがタイミングだから、こうせざるを得ないのかなと思うのだけれども、この書面が最終的に出ていく日付とマップが出来るタイミングというか、その前後関係は、やはり将来に対して評価をする形になるのですか？

事務局 : ご意見ありがとうございます。その通りでございますが、現在進行中ではありますが、発注の目途が立っておりますので、現在の状況での評価をお願いいたします。

議長 : はい。信頼してくれと。いかがでしょうか？

議長 : バス教室の先生はどなたがやっておられるのか？

事務局 : 講師は職員が担当しております。

議長 : 交通政策課が？

事務局 : そうです。今後は誰でも出来るようにしていきたいと考えております。

議長 : それは無理だと思う。誰でもやってしまうと逆に教育的に効果が出ないのではないかと？

事務局 : 誰でもというのは事業者さんのことで、事業者さんと一緒にやっていけたらということです。

議長 : よろしいですか？事業者さんからそれは困るとかないですか？

議長 : 特にご意見ないようですので、表決に移ってよろしいでしょうか。

[採決]

本件につきまして、今回の説明の内容でよろしいかどうか挙手をお願いします。

賛成多数により、本件を承認させていただきます。

次の議題に移ります。

才 倉敷市地域公共交通網形成計画の事業の取組について

事務局から説明（資料5・6，参考1・2）

議長 : ありがとうございます。

アンケートの話とナンバリング、カラーリングの話、どちらからでも結構ですので、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。いかがでしょうか？

議長 : アンケートの方なのだが、結果が2年に渡ってこういうアンケートの割には安定しているというか、もっと数字が暴れることが多いのですけれども、かなり安定しているなと思っていて、調査対象のモニター自体は、これは何ていうかいわゆる専門用語で言うと「パネル調査」ということなのかなと思ったのですが、同じ方に聞いている可能性は高いのですか？

事務局 : その通りです。市が、公共交通の事だけでなく、他の施策についても同じようなウェブアンケートを行っていて、お答えいただくことについて登録をした方々なので、昨年から引き継いでいる方もいらっしゃいます。

議長 : これはネット調査ですか？郵送ですか？

事務局 : ネット調査です。

議長 : 1,200人くらいが登録者全員という理解でよいか？

事務局 : そうです。

議長 : 登録者の方が偏っていないかというチェックはどこでかけているのか？

事務局 : 資料の後ろに付けておりますが、回答者の性別、地区及び年代ということで、詳しく見ていけばお住いの場所までわかるということになっています。わかる所といえば郵便番号までなので、停留所に近い人が答えているのか、遠い人が答えているのかというところまでは、詳細に調べれば見えてくると思います。

議長 : 言いたかったことは、倉敷市全域からランダムに万遍なく抽出されていると見なしていいのかどうかということ。駅の近くの方が多かったとかそういうことはないですね？

事務局 : そこは昨年調査した際に見ていますが大丈夫です。

議長 : わかりました。いかがでしょうか？

カラーリングもこのように進めていただけていますが、こうして欲しいとかの要望とかないでしょうか？うちの会社はこの色は嫌だとか。



あと、バスは岡山駅まで入っているのだけれど、JRは岡山駅まで入っていないですね。その辺りはどうなっているのか？

事務局：鉄道については、模式図的には倉敷市内の路線だけということです。岡山駅の方からの路線の頭にアルファベットでEと付いておりますが、これは岡山市の方でもナンバリングを検討されているようで、まだ詳しくは決まっていならしいのですけれど、岡山市と整合をとっていけるように調整しております。

議長：ありがとうございます。特にございませんか？  
これは表決事項ではありませんので、報告いただいたということによろしいですね。  
これで報告・協議事項5件の審議を終わったということになります。

(5) その他

議長：議事の(2)その他ですけれども、何かございますか？

事務局：皆様に配布させていただいております「井原線感謝デー」のチラシですけれど、この13日の日曜日に開催されますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

議長：ありがとうございます。他に何かございますか？  
ないようですので、事務局にお返しします。

(6) 閉会

事務局：これをもちまして、平成30年度第2回倉敷市地域公共交通会議を終了いたします。次回は本年6月頃を予定いたしております。詳細につきましては、改めましてご連絡いたします。本日はありがとうございました。

議事録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名する

平成31年1月23日

倉敷市地域公共交通会議 会長 原 孝 吏